

TURI KUMWE!

～私たちはひとつ～

みなさん、こんにちは。

私は村落開発普及員として東アフリカのルワンダで活動しています高橋徹（22-3）と申します。
ルワンダに来て一年が経ちました。

ルワンダについてと、私の活動（村落開発普及員）についてお伝えします。

ルワンダの紹介



【基本情報】

国土：26,338 平方 km（四国と同じくらい）

人口：11,370,425 人

首都：キガリ

公用語：キニアルワンダ語（母国語）、英語、仏語

民族：フツ族(84%)、ツチ族(15%)、トゥワ族(1%)

大統領：ポール・カガメ

通貨：ルワンダフラン（100 円≒600 ルワンダフラン）

時差：日本 -7 時間

主要産業：農業（GDP の 42%が農業）

主要農作物：コーヒー、紅茶

気候：通年 20 度前後

季節：乾季、雨季（乾季だからと言って雨が全く降らないわけではない）

ルワンダと言えば映画「ホテル・ルワンダ」を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか？ルワンダの民族同士（フツ族とツチ族）の大虐殺を描いた映画です。その大虐殺は1994年に起こり、もともとは当時の大統領（フツ族）の暗殺がきっかけで、フツ族がツチ族を皆殺ししようと、100日間で80万人ものツチ族が殺されました。それから17年。今ではその面影を見ることはほとんどありません。首都キガリは建設ラッシュで、インフラも整備され、道路にゴミなども落ちていません。至る所に警察、軍が配備され、治安もアフリカーとまで言われているほどです。悲しすぎるほどきれいな街なのです。



キガリ市街中心地の噴水



キガリ市の郊外（ゴミなど全くない）

活動紹介

私は村落開発普及員としてルワンダで活動していますが、村落開発普及員なのに、私の配属先は首都キガリです。村落開発普及員だからといって、誰もが村に配属されるわけではありません。

私は日本で言う市役所に値するセクター事務所で働いています。中でも経済開発課に配属されており、セクター（市）に登録されているコーペラティブ（組合団体）の支援が最大の使命です。

セクターに登録されているコーペラティブは約50にも及び、活動内容は、土産屋、刺繍屋、布屋、仕立屋、家具屋、運送屋と多岐に渡ります。この一年間、各コーペラティブを巡回し、どこのコーペラティブも費用に対する知識が少ないことに気づきました。「利益＝売上」ではなく、「利益＝売上－費用」なので、費用を減らせば、利益が出ることをセミナーを通じて教えています。コーペラティブのメンバーは、キニアルワンダ語しか話せない人がほとんどなので、言葉の壁が立ちばかり、うまく教育できていないのが現状です。残り一年間、今の活動を続けるかどうか最大の悩みです。



セミナーの様子



刺繍のコーペラティブ